

【参考様式 1】

暴力団排除に関する誓約書

年 月 日

酒田市長 宛

所 在 地

商号又は名称

代表者職氏名

㊞

当社（私）は、

- 1 下記のいずれにも該当しません。将来においても該当することのないことを誓約します。
- 2 酒田市との契約事案について、下記に該当する者であることを知りながら下請契約又は関連する契約（資材、原材料及び物品の購入契約並びにその他の契約）を締結することとはしません。
- 3 下記の該当の有無を確認するために、酒田市から役員名簿等の提出を求められたときは速やかに提出します。また、当該役員名簿並びに競争入札（見積）参加資格審査申請書及びその添付書類に記載された情報等が山形県警察本部に提供されることについて同意します。
- 4 暴力団の不当な要求には応じません。また、酒田市との契約事案について不当な要求を受けたときは、ただちに警察署へ通報（「110 番通報等」）するとともに、酒田시에報告します。
- 5 この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が入札参加資格の制限等の不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- ① 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）、暴力団員（同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団員等（酒田市暴力団排除条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。）が経営に実質的に関与していると認められる者に業務委託料債権を譲渡したと認められること。
- ② 役員等（参加事業者が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、受注者が法人である場合にはその役員、その支店又は常時請負契約を締結する事務所の代表者その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が暴力団員又は暴力団員等であると認められること。

- ③ 暴力団、暴力団員又は暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められること。
- ④ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団、暴力団員又は暴力団員等を利用する等していると認められること。
- ⑤ 役員等が、暴力団、暴力団員又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的あるいは積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与していると認められること。
- ⑥ 役員等が、暴力団員又は暴力団員等であることを知りながらこれを不当に利用する等していると認められること。(④に該当する場合を除く。)
- ⑦ 役員等が、暴力団、暴力団員又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。